

令和6年度

一般会計補正予算
(第9号)

実施計画書

実施計画書（補正予算）

事業名		防災・災害対策事業費		枝番	2	単位事業名	指定避難所環境改善事業		
まちづくり計画	柱	「公共」_様々な「公共」が地域を豊かにするまち						ページ番号	
	施策	3-4_安全安心なまちづくりの推進（生活基盤）							
	10年後の数値目標①	新たな雇用創出数 65人/年	10年後の数値目標②	若者が希望を持てる養父市だと思う人の割合 90%					
	個別計画								
	横断的行動指針 (SDGs)	11	住み続けられるまちづくりを						
実施主体	養父市			担当課	危機管理室 防災安全課				
会計区分	一般会計					当初補正区分	補正予算		
予算費目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	災害対策費
根拠法令等	災害対策基本法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律								
事業目的	対象	市民等							
	背景と目的	令和6年元日に発生した能登半島地震や平成16年の台風第23号以降、激甚化・頻発化している大雨等の自然災害に備えるため、市の指定避難所の備蓄品を充実する。令和6年度、内閣府（防災）が補正予算に盛り込んだ「新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）」事業を活用し、組立式非常用トイレなど指定避難所用備蓄品等を購入するとともに、大屋川防災ステーションにパレット型ステージを増設し効率的な収納保管スペースを確保する。							
事業内容	事業概要または補正の内容	<p>災害時の避難所において、避難してよかったと思えるような環境を整備する。今回、指定避難所用備蓄品として、炊き出し用かまど、組立式非常用トイレ、暖房機及び蓄電池等を購入する。また、購入した備蓄品を収納する大屋川防災ステーションにメザニンラックを増設して、保管スペースを確保し、併せて昇降リフトを購入する。また、購入した備蓄品を防災訓練等で広く活用し、市民の防災意識の高揚を図る。</p> <p>【歳出】 25,511千円 （内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユニットメザニンラック 84㎡ 11,050千円 ○昇降リフト 1台 880千円 ○炊き出し用かまど灯油バーナー仕様 4個 2,596千円 ○ジェットヒーター 10台 2,629千円 ○組立式非常用トイレ（車椅子対応） 20基 4,906千円 ○蓄電池 10基 3,450千円 <p>【歳入】 国庫支出金 新しい地方経済・生活環境創生交付金 12,750千円</p>							
		区分	既決予算額（千円）		補正予算額（千円）		予算総額（千円）		
事業費	0		25,511		25,511				
財源内訳	一般財源	0		12,761		12,761			
	国支出金	0		12,750		12,750			
	県支出金	0		0		0			
	地方債	0		0		0			
	その他	0		0		0			